

西柘植小だより

みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.10

2025（令和7）年6月25日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

6年生人権学習

12日（木）、ヒューリアみえの松村元樹さんをゲストティチャーに迎え、お話を聞きました。松村さんは、まずはじめにこの時間のポイントとして、「クラス目標を意識すること、これまでの自分、自分たちを振り返ること、これから自分・自分たちは何をしていくか、何をしていきたいかなどを考えること」と話されました。子どもたちは学級目標「Best Friend Forever～全員の本音を聴き、助け合える仲間になろう～」について考えながら聞きました。また、自分たちの身のまわりには、「これが好きなのは女人の人」「これは男の仕事」「結婚していたら子どもがいるのがあたりまえ」等といった思い込みがたくさんあり、そうした思い込みから悪意なく差別をしてしまっていることがあること、「友だちが何に悩んだり困っていたりするのかは、表面的にわかるものではない。だからこそ相手から『本音』を聞ける関係や伝えてよいと思えるクラスの環境が必要である。」といった話から、これまでの自分や学級を振り返り考えることができました。最後に、松村さんを囲んで円形になり、今日の話から感じたことや気づいたこと、考えたことを出し合いました。



委員会活動から



図書委員が18日（水）から学校図書館で「図書館クイズ」を行っています。全校のみんなに図書館や図書にもっと興味をもってもらいたいという図書委員の子どもたちの思いから取組をすすめています。クイズには、「図書館では、本が数字で分類されています。（2）にはどんな本があるでしょうか。」といった図書館にちなんだ問題から「『てぶくろをかいに』を書いた作者は誰でしょうか。」といった問題等、いろいろなことを楽しく知れるよう工夫されています。こうした取組から読書を習慣化する子が増えているほしい

です。

総務委員会では、「トイレのスリッパを揃えよう」とスリッパにハートマークをつけ、揃えた時にきれいなハート形になるようにしました。これまで定期的に揃っているか点検をして呼びかけを行ってきましたが、さらにみんなに意識してもらおうと考えました。

こうした「よりよい学校にしていきたい」という子どもたちの思いを全校みんなが受けとめてほしいと思います。



読み聞かせアリスさん

11日（水）、1・2年生を対象に「読み聞かせアリス」さんによる読み聞かせがありました。1年生では、大型絵本「おじさんのかさ」を読んでいただきました。黒くてりっぱな傘を持っているのに傘がぬれるのがいやで、けっして傘をささないおじさんが、友だちの傘にいれてもらって楽しそうに歌いながら帰っていく男の子との出会いから気持ちが変化していくというお話でした。2年生では「どしゃぶり」を読んでいただきました。



さまざまな言葉で表現された雨音から、かさにあたる雨音をあらためて聞いてみたくなるお話でした。

今回はどちらの学年でも雨の季節に合わせた本を選んで、読んでいただきました。梅雨の季節、この時期にしか体験できないこともたくさんあります。そうしたものに目を向けながら楽しく学校生活を送らせていただきたいと思います。



4年生見学調査

4年生では、社会科で「ごみのしょと活用」「くらしをささえる水」について学習します。

20日（金）、伊賀市ではどのようにごみ処理が行われているのか、飲料水がつくられているのかを学習するため「さくらリサイクルセンター」と「ゆめがおか浄水場」に見学に行きました。現地の見学を通して、ごみが衛生的に処理されていることや資源として有効利用されていること、飲料水は安全で安定的に供給できるように進められていること等を理解することができました。今後、学習をすすめる中で地域社会の一員として、一人ひとりがごみを減らすことや限られた水を大切に使うことを意識して生活することの重要性に気づかせ、自分にできることを考えさせていきたいと思います。

